16. ^{67}Ga-citrate と ^{99m}Tc-HIDA シンチが診断上有用であった Seminoma と Hepatoma の double cancer の1例

平木　嘉幸　　内山　典明　　中條　政敬
(国療南九州病院・放)
山王　邦博　(同・外)

症例は49歳，男性．主訴は貧血とタール便．入院時の胸写にて右第7肋骨の腫瘤状影を認めたため，^{67}Ga シンチを施行．右肋骨腫瘍，肝，および左睾丸部に異常集積を認め，左睾丸腫瘍の存在が明らかとなった．直ちに左除睾術を施行し，左睾丸腫瘍の組織診は seminoma であった．本例はまた，肝内に mass があり血清 AFP 値が 4,700 ng/m*l* と高値を示し，hepatoma の合併が疑われたため，生検を施行．hepatoma の組織診を得た．右肋骨腫瘍の原発巣検索の目的で，^{99m}Tc-HIDA シンチを施行したところ，同部に異常集積を認め，hepatoma の肋骨転移が示唆され，組織診でも確認された．以上 RI 検査が診断に有用であった double cancer の一例を経験したので報告する．

17. 塵肺症における ^{67}Ga-シンチグラフィの役割
——鎖骨上窩リンパ節への異常集積例を中心に——

鈴木　浩司　　佐京　俊明　　加藤　幸雄
中島　彰久　　前田　宏文　　芦澤　　昭
(大分医大・放)
佐分利能生　　水谷　良子　(同・二内)

塵肺症では，肺門部や縦隔リンパ節への ^{67}Ga の集積はよく知られている．塵肺症の56歳男性の症例において，右鎖骨上窩リンパ節腫大をきたし，悪性腫瘍を疑われ，^{67}Ga-シンチグラフィでは同部への異常集積がみられ，生検にて塵肺症による変化と診断された．

塵肺症で ^{67}Ga が鎖骨上窩リンパ節にも集積しうるとともに，悪性腫瘍を合併している場合，^{67}Ga の異常集積が塵肺症によるものか，悪性腫瘍のリンパ節転移かの鑑別は ^{67}Ga シンチグラフィ上困難である．

18. リンパ浮腫の症例における ^{99m}Tc-レニウムコロイドの検討

脇坂　昌紀　　前田　　徹　　六倉　正英
加藤　幸雄　　中島　彰久　(大分医大・放)
船越　　猛　　春田　隆昌　　福嶋　藤平
(同・放部)

リンパ浮腫において，リピオドール注入によるリンパ管造影が検討されるが，手技的に困難な場合が多い．^{99m}Tc-レニウムコロイドによるシンチグラフィにより，RI 皮下拡散の状態中，リンパ管の開存の有無を検討した．リンパ浮腫では皮下組織への拡散，リンパ管の拡張および閉塞，側副路の形成等が高頻度に見られた．

また，リンパ浮腫を疑われ，下肢静脈血栓症の例があり，リンパ管シンチグラフィ上患側リンパ流の促進を認めリンパ浮腫との鑑別が可能であった一例も経験した．

19. ^{131}I-MIBG シンチグラフィの臨床的検討

岩下　愼二　　中別府良昭　　米倉　隆治
田口　正人　　吉村　　広　　島袋　国定
城野　和雄　　坂田　博道　　中條　政敬
篠原　慎治　(鹿児島大・放)

昭和58年8月～61年12月までの期間に褐色細胞腫が疑われた39例，神経芽細胞腫8例，肺小細胞癌8例について ^{131}I-MIBG シンチを実施したので，これらの結果について報告した．褐色細胞腫が疑われた39例中，組織学的に褐色細胞腫と診断された10例 (Sipple 症候群1例を含む) 全例に集積がみられたが，手術，CT，カテコールアミン再測定等にて褐色細胞腫でないことが確認された後腹膜腫瘍7例，高血圧症22例では全例集積を認めなかった．一方，治療前に実施し得た神経芽細胞腫4例では全て集積を認めたが，治療後に実施した7例中3例に腫瘍の残存，転移がみられ，そのうち2例に集積が認められた．肺小細胞癌8例では，1例のみに集積を認めた．

Presented by Medical*Online